導入検討中の方、必見！

【初級編】

RPAの基礎と活用事例に学ぶ導入時におさえておきたいポイントとは？

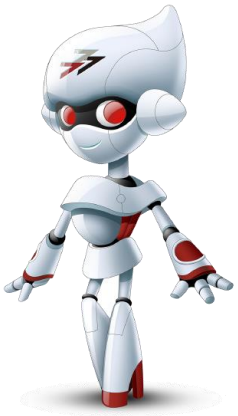


株式会社ブレインパッド

BrainPad Analytics Innovation Company

目次

- RPAの基礎（RPAとは？/RPAが注目されている背景）
- RPAができること
- RPA導入前によくある課題
- RPA導入でよくある導入のパターンと
  RPA導入時のおさえておきたいポイント
- 活用事例紹介



©BrainPad Inc.
Strictly Confidential

➢RPAの基礎

・RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）とは？

・RPAが注目されている背景



RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）とは？

製造工程や物流では自動化・ロボット化が進んでいましたが、ホワイトカラーの業務は自動化が出来ない状態となっていました。
RPAとはホワイトカラーの業務を自動化するテクノロジーとして登場しました。

■ 工場のFactory Automation進化　（人＋製造ライン＋ロボット）

直接部門



■ オフィス版の生産性向上の進化　（人＋情報システム＋ロボット）

間接部門



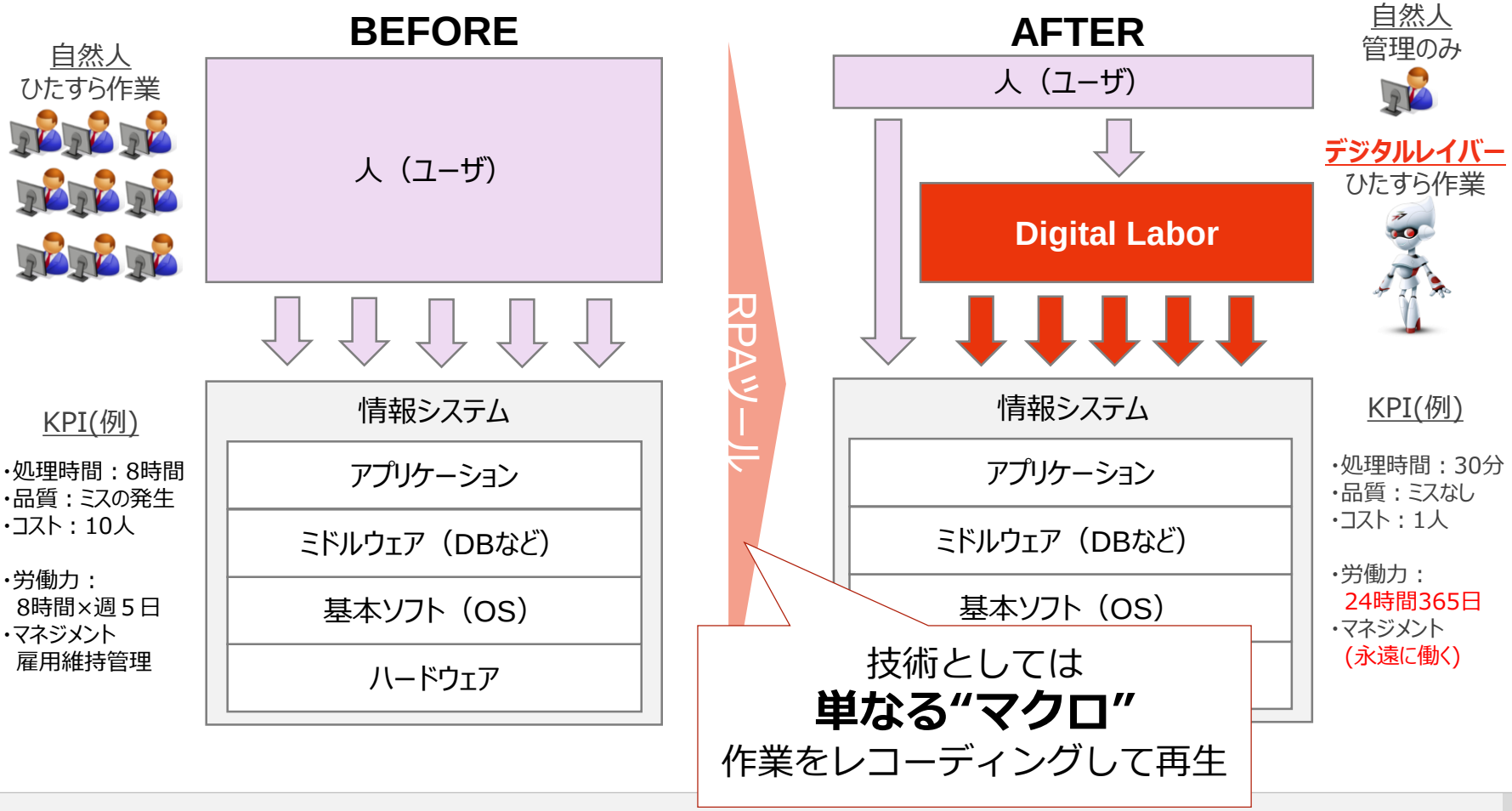
RPA（Robotic Process Automation）とは、認知技術（ルールエンジン・機械学習・人工知能等）を活用した
主にホワイトカラー業務の効率化・自動化の取組みであり、人間の補完として業務を遂行できることから、
仮想知的労働者（デジタルレイバー）とも言われています

©BrainPad Inc.
Strictly Confidential

RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）とは？

デジタルレイバーは人と情報システムの間に存在し、人の作業を代行

既存業務システムへの変更不要、圧倒的な労働生産性



©BrainPad Inc.
Strictly Confidential

RPAが注目されている背景

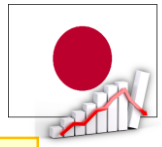
働き方改革

・「労働時間の改善」
・「働き手を増やす」
・「労働生産性の向上」
などの取り組み



人口の減少

・日本の人口減少
・少子高齢化



採用難

・労働人口は減少傾向
・採用の指標となる「有効求人倍率」はどんどん上がっていく可能性がある



業務の自動化・効率化を考えていく状況

企業や組織は、「より少ない人数」で「より多くの業務量」を処理しなければいけない状況が出てきている

機械的な作業は、徹底的に合理化するということが求められ、
「働き方改革」と「業務効率化」を実現するRPAへの期待は大きいといえるでしょう。

RPAはそのような状況において、
常に正確に素早く処理をしてくれる心強い味方です。



そして、人はより付加価値の高い
高度な判断を必要とする業務や創造的な仕事に専念できる。



©BrainPad Inc.
Strictly Confidential

➢RPAができること



RPAができること

ソフトウェアロボットにより定型作業の**効率化・自動化**が図れます。また、費用・時間の削減だけではなく、**作業精度向上**、**作業内容の変更**に柔軟な対応ができます。

実体

PC操作を自動実行するソフトウェア

- ルールに基づく定型的な作業を代行

得意な作業

- ルール化し業務フローが書ける作業
- 大量の作業
- 反復作業

導入メリット

- 業務品質が向上(うっかりミスが減少)
- 生産性向上(処理が高速、24時間動く)
- メンテナンスが容易、複雑なプログラムスキルは不要
- 業務の可視化が可能

《対応できる作業例》



©BrainPad Inc.
Strictly Confidential

RPAにできること（一例）

RPAとしての適用業務（通常利用）



競合調査

競合会社のWebサイトを定期的にクローリングし、品ぞろえ、価格、納期などをチェック



売上管理

売掛データと入金データを比較し、**未入金、過誤入金を検査し、リスト化**



旅費・交通費申請

申請された旅費・交通費が正確な内容であるかどうかを**Web上で最短ルートでの正規料金を確認して、不正申請をチェック**



受注・在庫管理

受注情報をメール（ファイル）で受領し、ファイルの中身から在庫管理システム上で引き当て、結果を担当者にメール

高度なAIを併用した適用業務



勤怠管理・残業時間チェック

過去の勤怠実績から、将来の残業時間を予測し、人事、上司、本人に通知



お客様対応の効率化

コールセンターなどでのお客様との会話の内容をテキスト化、要約するシステムからFAQシステムに問い合わせを行い、回答の候補を表示



自動発注

過去の販売データ・在庫データを活用し需要を予測。予測した物量に合わせて、ロボットで自動発注

©BrainPad Inc.
Strictly Confidential

➢RPA導入前によくある課題



RPA導入時の懸念



・実際にRPAに何が出来るの？
・導入のコスパは？
・自分たちで運用出来る？
・難しそう！

RPA導入を検討されている企業様では、このような懸念をよくお聞きします。

©BrainPad Inc.
Strictly Confidential

RPA導入前によくある課題

その他、

・情報システム部がいない、もしくは少ない（主導するリーダー不在）
・社員のITリテラシーが低い（自分たちで使えるのか不安）
・紙や電話の文化、そのような業務が多い（そもそも業務がデジタル化されてない…）
・業務が属人化している
・作業マニュアルなどが無い
・業務担当者の意識改革が難しい
・業務パッケージのバージョンが古い
・利用システムが独自のものなので、RPAの対応対象外なのではないか？
・常に同様の動きではないけれど、そのような業務でも対応できるの？

上記のような課題に対し、次のページで
「RPA導入でよくある導入のパターン」と
「RPA導入時のおさえておきたいポイント」を
ご紹介いたします！



©BrainPad Inc.
Strictly Confidential

- **RPA導入でよくある導入のパターンと**
  RPA導入時のおさえておきたいポイント



RPA導入でよくある「導入のパターン」

RPA導入については以下の3つのパターンに分かれます。

トップダウン型

経営者が「『業務効率化』や『働き方改革』が必要だ！」との経営課題に迫られて起こるケース（「AIで何か出来ないか」の結論としてRPAが目にとまることも）
＞TOPの思いと現場（業務）の意識の摺合せが重要

現場主導型

業務効率化課題に対して現場で対応検討を行った結果として、RPAによる自動化がクローズアップされる。
＞現場が導入のROIをうまく説明出来ないと予算が付けられないリスク（技術的なキャッチアップにも課題）

IT部門主導型

業務効率化のための新たなIT技術としてRPAを検討。業務も社内システムも理解しているのでスムーズな導入が予想されるが、IT部門に「ロボット作成依頼」が積み上がり、現場が「お客さん化」するリスク

いずれのパターンでも問題なく導入可能です。
重要なことは「導入アプローチ（進め方）」です。

©BrainPad Inc.
Strictly Confidential

RPA導入におさえておきたいポイント

- **業務の一部分から評価検討を実施**
  - ✓ 小規模なパイロットの取り組みから拡大
  - ✓ 効果の出やすそうな業務選定して実績を出す
  - ✓ 現場の担当者が「負荷が大きい」と感じているテーマを選択

現場を巻き込み、
経営・IT部門・現場が共有知として
RPA導入（＝業務改善）を自分事化

- **完全性は求めない**
  - ✓ ロボットはミスはしませんが、外的要因で動かなくなることも
  - ✓ お世話がかりの存在や、障害時の通知、フォローが大事

新しい取り組みにはトライアンドエラーが
つきもの。小さく失敗するようにして早期に
軌道修正

- **運用体制の確立**
  （最終イメージを見据えて、徐々に拡大）
  - ✓ 拡張するために運用（=改善）を組織文化に
  - ✓ 内部ノウハウの蓄積、強化
  - ✓ 複数のロボット管理統制、特に野良ロボットを撲滅していくか？

導入検討時から自社での自立運用を
イメージし、徐々に社内でルール作りを



©BrainPad Inc.
Strictly Confidential

RPA導入におさえておきたいポイント

「RPA導入≠完了」

RPAは導入するだけでは終わらない、
RPAはあくまでツールであり手段。

ポイントは
・技術とアイデアの両輪
・導入後の運用体制の構築こそが
導入成功への道

詳細は、ぜひお問合せください！
各企業様にあった導入から導入後の運用体制まで
ブレインパッドがサポートいたします！

https://bit.ly/2OG1MnW

©BrainPad Inc.
Strictly Confidential

➢活用事例紹介



ブレインロボ（BrainRobo）導入事例

業務プロセス改善

株式会社I-ne様

RPA「ブレインロボ（BrainRobo）」

RPA「ブレインロボ（BrainRobo）」でECサイト運営業務を自動化
4ヶ月間で47業務を自動化し、月間300時間の工数削減へ



「BOTANIST」「SALONIA」など、画期的な新商品を次々と世に送り出す次世代ベンチャーメーカー・株式会社I-ne（アイエヌイー）は、約20以上のブランドにわたり展開するECショップの運営業務を自動化するため、ブレインパッドのRPAサービス「ブレインロボ（BrainRobo）」を導入しました。3か月のトライアル利用を経て、ブレインロボの正式導入を決定、現在は47業務の自動化により月間300時間の工数削減を実現すべくRPAの導入範囲を拡大しています。同社の取締役・橋本様、情報システム課課長・浅利様に、ブレインロボの導入経緯と活用方法についてお話をうかがいました。

株式会社I-ne　取締役 経営管理本部長 橋本 恒平 様（左）情報システム課課長 浅利 修次 様（右）

導入のポイント

POINT 1 3ヶ月の導入効果の検証期間を経て、「ブレインロボ（BrainRobo）」の正式導入を決定。
現場スタッフに導入メリットを実感してもらいながら、RPAの全社導入を推進

POINT 2 2か月におよぶスキルトランスファーを実施し、社内にロボットプログラム作成・運用のノウハウを蓄積。
独力でRPA導入範囲の拡大が可能な体制を構築。

POINT 3 今後4か月間でECショップ運営に関する47業務を自動化し、月間300時間の工数削減達成を目指す



©BrainPad Inc.
Strictly Confidential

【導入プロセス1：簡易診断】ECショップ運営の3業務を対象に、自動化に向けた簡易診断

―ブレインロボの具体的な導入プロセスを教えてください。

― 橋本氏：

ブレインロボの導入効果を検証するため、ECショップの運営業務から下記の3業務をトライアル対象に選定して自動化を行ってみました。

① 注文キャンセル時のチェック作業　② 在庫表の作成作業　③ 会計システムのデータチェック作業

【導入プロセス2：PoC支援】実際にロボットプログラムを作成し、社内デモを実施。現場社員から驚きの声が上がり、RPAへの期待が一気に高まる

― 浅利氏：

3業務の具体的な手順をまとめたドキュメントを基に、ブレインパッドさんがロボットを作成し、

それを当社が検証する、という流れでプログラム作成を進めていきました。



―それまで業務を担当していた方からは、どのような反応がありましたか。

― 橋本氏：

ロボットが完成してから、役職者や現場担当者、その他にもブレインロボが関係しそうな業務のメンバーを集めて

デモンストレーションを行ったんです。

そうしたらみんなが「これはすごい！」と感動してくれましたね。特にECショップの運営を行う担当者は相当テンションが上がっていました。

自分が普段行っている作業だからこそ、それが自動化できることに驚きがあったのだと思います。ここまでできるなら、他のことにもどんどん活用できるんじゃないの？と、RPAに対する社内的な期待が一気に高まった瞬間でした。

次ページへ

©BrainPad Inc.
Strictly Confidential

【導入プロセス3：スキルトランスファー】2か月におよぶ綿密なスキルトランスファーを実施。「ロボット相談室」を開催し、社内にRPAスキルを蓄積

―トライアル契約から、正式契約に至った後のプロセスを教えてください。

― 浅利氏：2018年4月からはロボットプログラムを自分たちでも作成できるよう協力をいただきながら、スキルトランスファーを進めていきました。RPA専門トレーナーの方に来ていただき、情報システム課の担当者を対象に、独自カリキュラムを丸2日間みっちりとやっていただきました。その後、教わった内容を実践するため、情報システム課内にあるルーティン作業の自動化に取り掛かりました。

5月からは隔週で「ロボット相談室」というものを開催しています。この日はブレインパッドさんにご来社いただき、朝10時から夕方18時まで、ロボットについてひたすら社内の質問に答えていただくのです。どんな質問にも必ず回答してくれるので、とても助かっていますね。サポートは非常に手厚くやっていただいていると思います。

【導入プロセス4：本格導入フェーズ】4か月間でECショップ運営47業務の自動化を計画、月間300時間の作業工数削減を目指す

―今後の計画について教えてください。

― 浅利氏

自動化の効果が特に大きいと期待しているのが、注文時に不足している情報をお客様に確認する「注文情報の確認作業」です。ECショップを運営する企業ならおそらくどこにでもある作業で、当社ではこの作業に毎月64時間の工数を掛けています。47業務すべての自動化が実現すれば、月間約300時間の作業工数が削減される見込みです。まずはこれを実現するため、しっかりと開発リソース確保しながら、自動化を進めていきたいと考えています。

次ページへ

©BrainPad Inc.
Strictly Confidential

【今後の展望】ブレインパッドの支援を得て、より高度な業務自動化にもトライ。自社の強み“Leanであること”をさらに強化していきたい

ー今後、ブレインロボをどのように活用していくか、展望をお聞かせください。

ー浅利様：現在自動化を進めている47業務以外にも、RPAで自動化したい業務の候補が30ほど控えています。これらの業務は、紙書類にある手書きテキストをデジタル化するなど、自動化の難易度が高い工程を含んでいます。現在ブレインパッドさんにはこれら業務をどうすれば自動化できるか、調査・研究を進めていただいています。現在取り掛かっている47業務の自動化が実現した後には、これら難易度の高い業務の自動化にも、ブレインパッドさんに支援をいただきながら取り組んでいこうと考えています。

ー橋本様：RPA導入範囲が順調に拡大して、オペレーションに掛ける作業工数を削減できれば、その時間を商品企画や、業務プロセスの改善など、よりクリエイティブな業務にあてることができると思います。これは当社の強み＝「Lean」であることをさらに伸ばすことにも繋がるので、経営層としてもブレインロボには高い期待をしています。

【RPA導入の総括】百聞は一見に如かず！　導入検討中企業は、まずトライアル導入を試してみるのも1つの手段

―最後に、RPA導入検討中の企業様に向けて、何かアドバイスがあればお聞かせください。

浅利様：「百聞は一見に如かず」で、まずはトライアル導入を一度試されてみてはと思います。RPAが自社にもたらすメリットを理解・実感できますし、それを現場の社員にも見てもらえれば、RPAの導入にさらに弾みがつくと思います。当社も現場社員にデモンストレーションを見せることで、RPAへの期待感が高まりましたし、それをきっかけに80近くの自動化希望業務が集まりました。トライアル導入はそういった勢いをつけてくれると思います。

橋本様：当社の場合、ブレインロボ導入の意思決定をした後、「今すぐにでも正式導入したい」と意向をお伝えしたのですが、ブレインパッドさんから「導入効果検証なしの本格導入はお断りします」ときっぱり言われました。

振り返ってみると、導入効果検証で初めて気がつくことも多々あり、あのプロセスがなければここまでスムーズにRPA導入が進んでいなかったと思います。ブレインパッドさんには誠意ある対応をしていただいて、本当に感謝しています**。RPAを導入すべきか否か、検討がなかなか進まないとお悩みの企業様は、まずは導入効果検証を試されてみるのも1つの手段かと思います。**

I-ne様インタビュー抜粋です。より詳細は次ページでご確認ください

©BrainPad Inc.
Strictly Confidential

ブレインロボ（BrainRobo）導入事例

業務プロセス改善

テクノプロ・ホールディングス株式会社様

RPA「ブレインロボ（BrainRobo）」

RPA「ブレインロボ（BrainRobo）」に外部サービスを組み合わせ、“画像認証”を自動パスするロボットプログラムの作成に成功！

ーそして、わずか3か月で約50のロボットプログラム稼働に成功



16,000人を超えるエンジニア・研究者を擁する、国内最大の技術系人材サービスグループ。テクノプロ・ホールディングス株式会社は、グループ各社の業務マニュアルに基づく作業を自動化するため、ブレインパッドのRPAサービス「ブレインロボ（BrainRobo）」を導入しました。導入から3か月で約50のロボットプログラムを稼働させるなど、RPAの積極活用をスピーディーに進める同社に、ブレインロボの導入経緯と活用方法について詳しくお話をうかがいました。

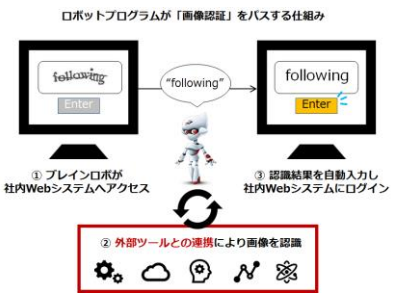
テクノプロ・ホールディングス株式会社　情報システム課課長　様（左）　執行役員[情報システム管掌]　安達 俊行　様（中）　株式会社ブレインパッド　RPAソリューショングループマネジャー　山内　康志

導入のポイント

POINT 1　ブレインロボに外部サービスを組み合わせ、「画像認証」を自動パスするロボットプログラムの作成に成功。

POINT 2　週1回のサポートミーティングを重ねながら、徐々にRPAの適用範囲を拡大。
わずか3か月で約50のロボットプログラム稼働に成功。

POINT 3　今後は、機械学習などのAI（人工知能）とRPAの連携により、これまで以上に高度な業務処理の自動化を目指していく。



©BrainPad Inc.
Strictly Confidential

【導入プロセス1：簡易診断】人の判断が必要な「画像認証」をロボットプログラムでパスできるか検証を実施

―ブレインロボを選定いただいた理由を教えてください。

― 小西氏：

現在多くのRPA製品がありますが、そのほとんどが指示された定型業務だけをこなす、いわゆる「クラス1」のものです。

当社の場合、人が目で見て判断を行い、その上で処理を行う業務があるので、一般的なRPAツールでは導入が難しいのでは？と考えていました。

―「人が目で見て判断し、処理を行う」とは、具体的にどういったことですか？



― 小西氏：
たとえば、社内Webシステムへのログインの際に求められる「画像認証」が挙げられます。
「画像認証」は基本人が目で見て判断を行うもので、それをロボットでパスできるか？という点は、
RPAツール選定におけるポイントの一つでした。

そこで、ブレインパッドさんにはまずロボットプログラムが「画像認証」をクリアすることができるか、
簡易診断してもらうことにしました。

― 小西氏：
「多分無理だろうな……」と半ばあきらめ気味にお願いしたのですが、
数日後には「できます！」と返事が返ってきて、「え、本当かな？」と（笑）。最初は半信半疑でした。

しかし、実際にデモンストレーションを見せていただくと、確かにロボットが「画像認証」をパスしていて驚きました。
これならば当社でもRPAが導入できそうだということで、すぐに導入効果検証（PoC）をスタートすることになりました。

詳しい仕組みは割愛しますが、ブレインロボと外部ツールを組み合わせることで「画像認証」を行っています。
RPAツール単体ではクリアできないことも、別のツールや手法を組み合わせて解決策を提示してくれるところに、
ブレインパッドさんの高い技術力を感じました。



次ページへ

©BrainPad Inc.
Strictly Confidential

【導入プロセス1：簡易診断】人の判断が必要な「画像認証」をロボットプログラムでパスできるか検証を実施

―ブレインロボを選定いただいた理由を教えてください。

― 小西氏：
現在多くのRPA製品がありますが、そのほとんどが指示された定型業務だけをこなす、いわゆる「クラス1」のものです。
当社の場合、人が目で見て判断を行い、その上で処理を行う業務があるので、一般的なRPAツールでは導入が難しいのでは？と考えていました。

―「人が目で見て判断し、処理を行う」とは、具体的にどういったことですか？

― 小西氏：
たとえば、社内Webシステムへのログインの際に求められる「画像認証」が挙げられます。「画像認証」は基本人が目で見て判断を行うもので、それをロボットでパスできるか？という点は、RPAツール選定におけるポイントの一つでした。そこで、ブレインパッドさんにはまずロボットプログラムが「画像認証」をクリアすることができるか、簡易診断してもらうことにしました。

【導入プロセス2：PoC支援】実際にロボットプログラムを作成し、社内デモを実施。現場社員から驚きの声が上がり、RPAへの期待が一気に高まる

― 浅利氏：
3業務の具体的な手順をまとめたドキュメントを基に、ブレインパッドさんがロボットを作成し、
それを当社が検証する、という流れでプログラム作成を進めていきました。



―それまで業務を担当していた方からは、どのような反応がありましたか。

― 橋本氏：
ロボットが完成してから、役職者や現場担当者、その他にもブレインロボが関係しそうな業務のメンバーを集めて
デモンストレーションを行ったんです。

ジへ

【導入プロセス3：スキルトランスファー】2か月におよぶ綿密なスキルトランスファーを実施。「ロボット相談室」を開催し、社内にRPAスキルを蓄積

―トライアル契約から、正式契約に至った後のプロセスを教えてください。

― 浅利氏：2018年4月からはロボットプログラムを自分たちでも作成できるよう協力をいただきながら、スキルトランスファーを進めていきました。RPA専門トレーナーの方に来ていただき、情報システム課の担当者を対象に、独自カリキュラムを丸2日間みっちりとやっていただきました。その後、教わった内容を実践するため、情報システム課内にあるルーティン作業の自動化に取り掛かりました。

5月からは隔週で「ロボット相談室」というものを開催しています。この日はブレインパッドさんにご来社いただき、朝10時から夕方18時まで、ロボットについてひたすら社内の質問に答えていただくのです。どんな質問にも必ず回答してくれるので、とても助かっていますね。サポートは非常に手厚くやっていただいていると思います。

【導入プロセス4：本格導入フェーズ】4か月間でECショップ運営47業務の自動化を計画、月間300時間の作業工数削減を目指す

―今後の計画について教えてください。

― 浅利氏

自動化の効果が特に大きいと期待しているのが、注文時に不足している情報をお客様に確認する「注文情報の確認作業」です。ECショップを運営する企業ならおそらくどこにでもある作業で、当社ではこの作業に毎月64時間の工数を掛けています。47業務すべての自動化が実現すれば、月間約300時間の作業工数が削減される見込みです。まずはこれを実現するため、しっかりと開発リソース確保しながら、自動化を進めていきたいと考えています。

次ページへ

©BrainPad Inc.
Strictly Confidential

【今後の展望】ブレインパッドの支援を得て、より高度な業務自動化にもトライ。自社の強み“Leanであること”をさらに強化していきたい

ー今後、ブレインロボをどのように活用していくか、展望をお聞かせください。

ー浅利様：現在自動化を進めている47業務以外にも、RPAで自動化したい業務の候補が30ほど控えています。これらの業務は、紙書類にある手書きテキストをデジタル化するなど、自動化の難易度が高い工程を含んでいます。現在ブレインパッドさんにはこれら業務をどうすれば自動化できるか、調査・研究を進めていただいています。現在取り掛かっている47業務の自動化が実現した後には、これら難易度の高い業務の自動化にも、ブレインパッドさんに支援をいただきながら取り組んでいこうと考えています。

ー橋本様：RPA導入範囲が順調に拡大して、オペレーションに掛ける作業工数を削減できれば、その時間を商品企画や、業務プロセスの改善など、よりクリエイティブな業務にあてることができると思います。これは当社の強み＝「Lean」であることをさらに伸ばすことにも繋がるので、経営層としてもブレインロボには高い期待をしています。

【RPA導入の総括】百聞は一見に如かず！　導入検討中企業は、まずトライアル導入を試してみるのも1つの手段

ー最後に、RPA導入検討中の企業様に向けて、何かアドバイスがあればお聞かせください。

浅利様：「百聞は一見に如かず」で、まずはトライアル導入を一度試されてみてはと思います。RPAが自社にもたらすメリットを理解・実感できますし、それを現場の社員にも見てもらえれば、RPAの導入にさらに弾みがつくと思います。当社も現場社員にデモンストレーションを見せることで、RPAへの期待感が高まりましたし、それをきっかけに80近くの自動化希望業務が集まりました。トライアル導入はそういった勢いをつけてくれると思います。

橋本様：当社の場合、ブレインロボ導入の意思決定をした後、「今すぐにでも正式導入したい」と意向をお伝えしたのですが、ブレインパッドさんから「導入効果検証なしの本格導入はお断りします」ときっぱり言われました。

振り返ってみると、導入効果検証で初めて気がつくことも多々あり、あのプロセスがなければここまでスムーズにRPA導入が進んでいなかったと思います。ブレインパッドさんには誠意ある対応をしていただいて、本当に感謝しています**。RPAを導入すべきか否か、検討がなかなか進まないとお悩みの企業様は、まずは導入効果検証を試されてみるのも1つの手段かと思います。**

I-ne様インタビュー抜粋です。より詳細は次ページでご確認ください

©BrainPad Inc.
Strictly Confidential

まだまだ、たくさんの導入事例があります

● **より詳細な事例が以下のURLよりご覧になれます。**

「株式会社I-ne」 https://rpa.brainpad.co.jp/case/p174/

「テクノプロ・ホールディングス株式会社」 https://rpa.brainpad.co.jp/case/p123/

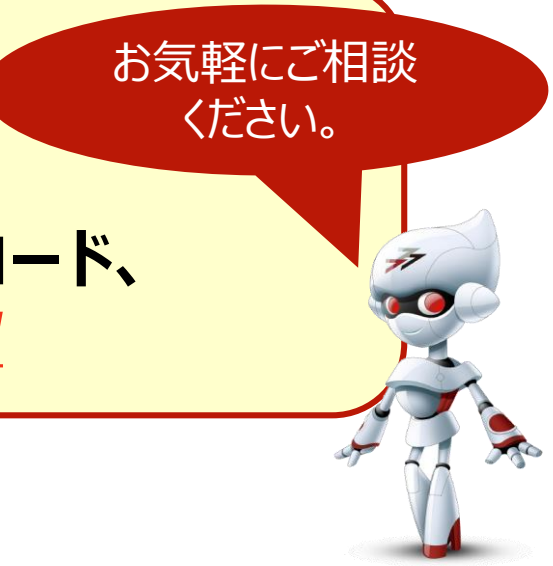
各種事例 https://rpa.brainpad.co.jp/case/

お問合せ

info@brainpad.co.jp

無料トライアルお申込、資料ダウンロード、

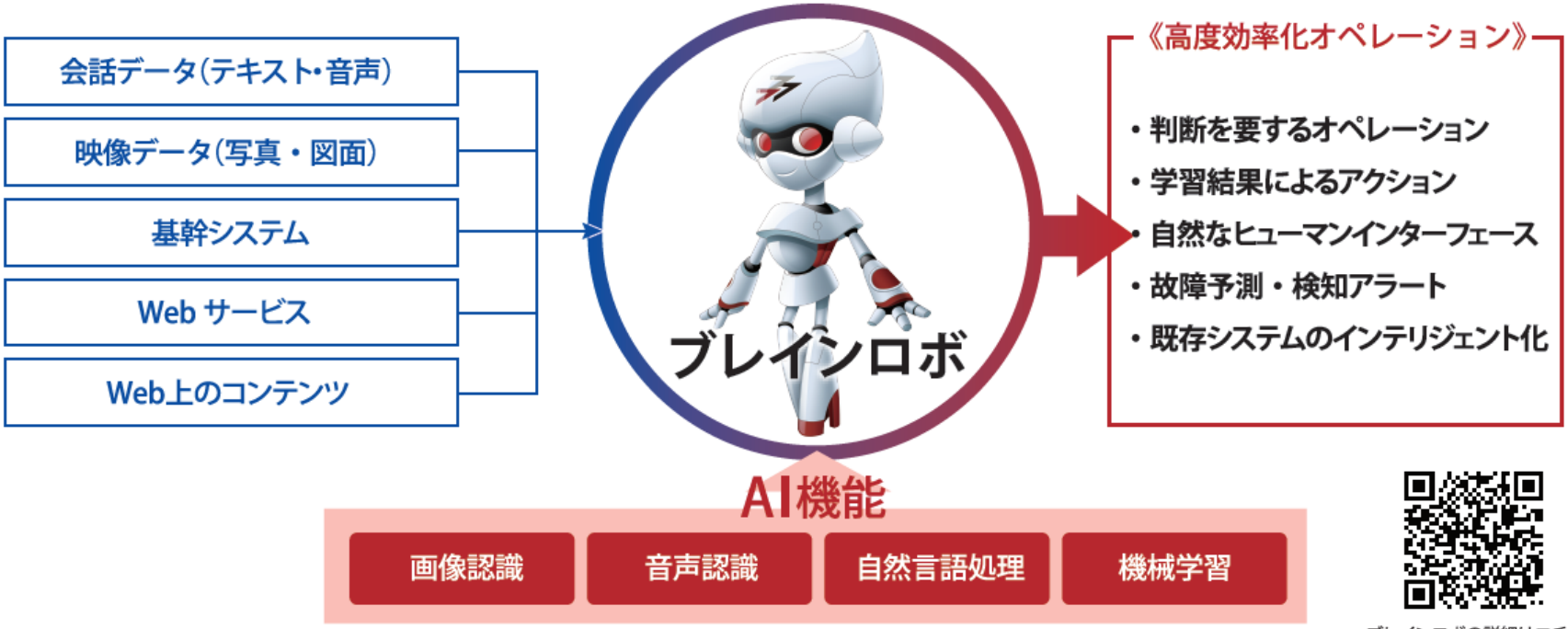
https://rpa.brainpad.co.jp/



©BrainPad Inc.
Strictly Confidential

ブレインロボ（BrainRobo）とは？

ブレインロボは RPA にブレインパッドの持つ AI 技術（画像解析・自然言語解析・各種予測技術等）を組合せ、より人間と同じような判断や、人間を超える精度での予測に基づいた判断などを元にオペレーションを遂行する業務自動化ソリューションです。



ブレインロボの詳細はコチラ

©BrainPad Inc.
Strictly Confidential

サービスメニュー

RPA の導入形態にあわせて 3 つのライセンス形態（サービスパック）をご用意しております。
そしてすべてのライセンス形態でブレインパッドの高度活用サービスを加えることが可能です。

高度活用サービス

ブレインパッド独自のAIプラットフォームの活用やデータサイエンティストによるカスタムロジックの開発など×AIの機能開発をご支援します。

エントリーパック

デスクトップ PC で稼働するロボットを導入します。小規模な導入や、人が実行タイミングを決める業務に向いています。

クラウドパック

セキュアなクラウド環境で稼働するロボットを導入します。サーバーでロボットを使用したいが、サーバ環境の管理をアウトソースしたい企業に向いています。

レギュラーパック

サーバーで稼働するロボットを導入します。複数のロボットを自動実行させるような業務に向いています。

いづれのサービスパックにもブレインパッドの豊富な導入経験を活かした
「導入サポート」と**「運用サポート」**が付属します。

導 入 実 績

INE INNOVATION NEVER ENDS
DIS
全日空商事株式会社
TECHNOPRO HOLDINGS
JR Nets
D RAMA
FELISSIMO

その他

©BrainPad Inc.
Strictly Confidential

BrainPad
Analytics Innovation Company

各種ご相談や「デモが見たい」「見積もりが欲しい」などのご要望は、

株式会社ブレインパッド
ソリューション開発本部　セールス＆マーケティング部

TEL：03-6721-7007
お問合せURL： http://ur2.link/N88i

までご連絡ください。

本資料は、未刊行文書として日本及び各国の著作権法に基づき保護されております。本資料には、株式会社ブレインパッド所有の特定情報が含まれており、これら情報に基づく本資料の内容は、御社以外の第三者に開示されること、また、本資料を評価する以外の目的で、その一部または全文を複製、使用、公開することは、禁止されています。また、株式会社ブレインパッドによる書面での許可なく、それら情報の一部または全文を使用または公開することは、いかなる場合も禁じられております。